



令和3年度 第4回佐治地域振興会議

三朝町電源立地地域 対策交付金事業

令和3年11月30日（火）

三朝町企画課

本日の説明内容

1. 三朝町の概要
2. 電源立地地域対策交付金事業

1. 三朝町の概要



人口・世帯数 6, 212人
2, 565世帯

※令和3年10月末現在

面積 233.52 km² ※鳥取市、日南町、倉吉市に次ぐ広さ



町の鳥／ヤマセミ



町の木／トチノキ



町の花／ホンシャクナゲ

三朝温泉（日本遺産）



三朝橋

昭和9年に作られた青御影石造りで登録有形文化財に指定。入口には昭和4年に制作された無声映画「三朝小唄」のモニュメントが立つ。

河原風呂

三朝橋と川のほとりにある無料混浴露天風呂。地域住民や観光客に親しまれる三朝温泉のシンボル。



三徳山（日本遺産・国立公園）



国宝・投入堂

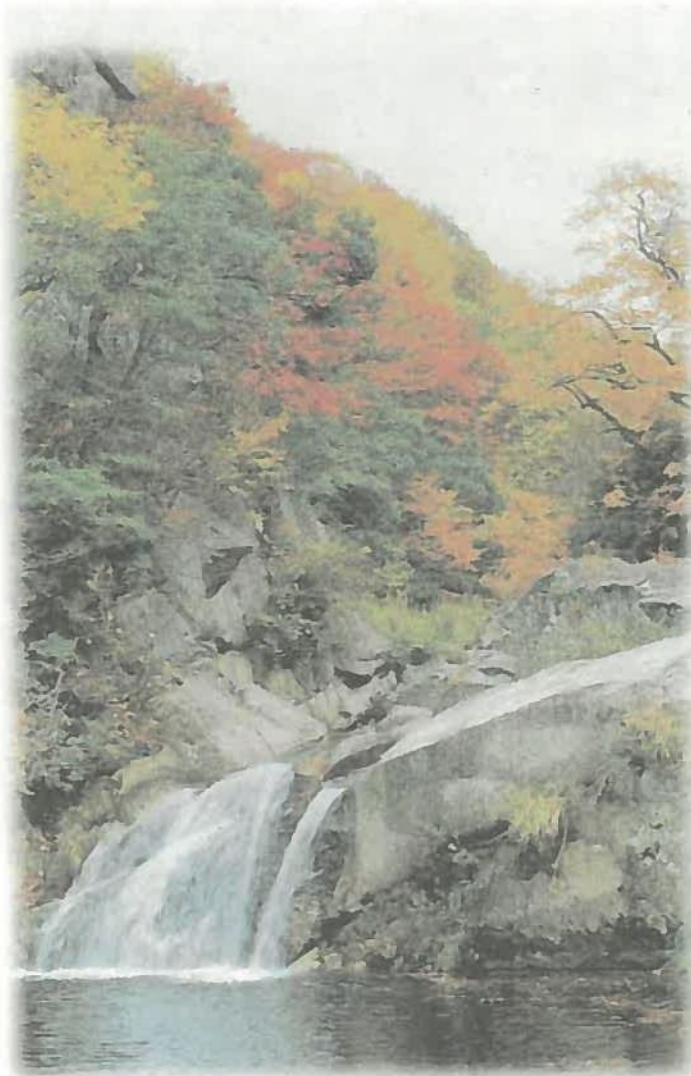
三徳山信仰の象徴。修験道の開祖・役行者が法力により断崖絶壁の岩窟に投げ入れたとされる。

再建された正善院

平成24年に火災で焼失。令和2年5月に江戸末期の姿を復元。



名勝・小鹿溪



雄淵・雌淵・小鹿溪探訪遊歩道

国指定の名勝。滝、深淵、巨岩が織り成すダイナミックな自然美が見どころ。



岡山大学惑星物質研究所

はやぶさ2

2020.12月



三朝町

あったかいまち
MISASA TOWN



特選・三朝米



特 徴

品種は、従来から食味に定評のある「コシヒカリ」と、特A品種の「きめむすめ」です。

鳥取県が認証する特別栽培米の基準を満たす特選三朝米は、「環境にやさしい」をキーワードにその生産に取り組んでいます。

その生産はこだわりの堆肥を使った土づくりに始まります。堆肥に竹粉を混ぜて熟成させた「竹粉堆肥」を投入し、土壌改良を進めています。竹粉は、羅山の荒廃竹林から供給されるため、羅山環境の改善及びイノシシ対策としても有効で、「環境にやさしい特選三朝米」の食味向上に大きく貢献するものとして期待されています。

特選三朝米は、生産者が日夜を問わず、心身を傾注させて完成させる一品であるといえます。

特選三朝米について

三朝町では米の食味ランキング(日本穀物検定協会)で“特A”の評価を受けるほど美味しいお米が生産されています。

町では、この美味しいお米をブランド化するため、生産者と消費者を結びつけながら、米作りの新たな元気を作り出す取り組みを始めました。



三朝町

あったかいまち
MISASA TOWN



三朝神倉（かんのくら）大豆



三朝神倉豆腐
神のはる

三朝神倉大豆
本に作りを継承し、
一丁一丁、丁寧に作っています。
大豆の持つ、旨みがあり、
もろもろの風味が詰まった
豆腐がなんともおいしいです。



三朝神倉納豆
神のつぶ

三朝の一番神倉大豆を
とると納豆にしました。
大豆の持つ旨みと神倉が
よくのびていますので、
神倉大豆の旨みをおいしく
味わえます。



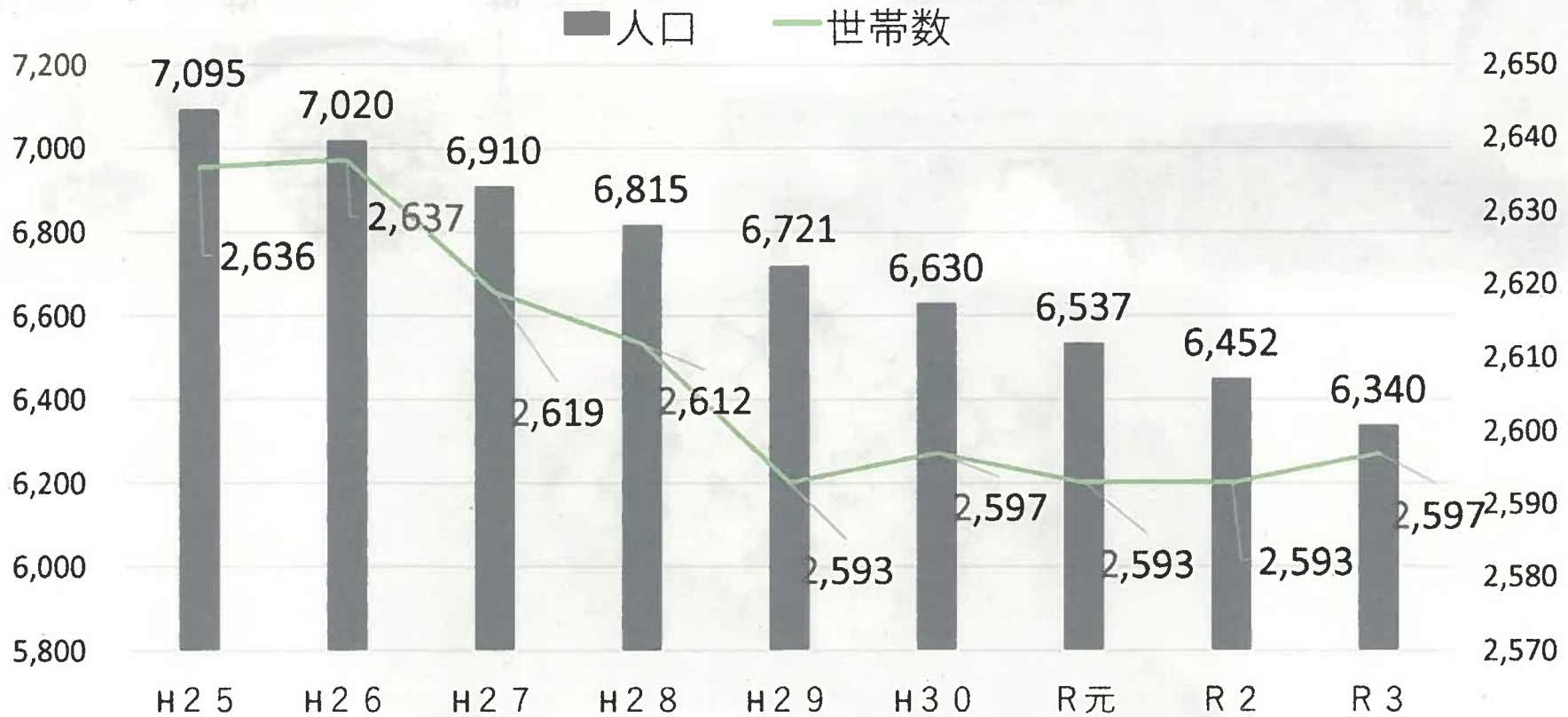
三朝神倉豆乳
神のしずく

三朝神倉大豆をまるごと搾った
大豆の旨みと神倉が
たっぷりと詰まっています。
さらさらとした飲み心地です。
神倉大豆の旨みと神倉が
たっぷりと詰まっています。
さらさらとした飲み心地です。



三朝町の人口推移

- 年少人口と生産年齢人口は減少し続ける一方、老年人口は増加傾向（高齢化率：40%）
- 総人口は、年平均100人ペースで減少



三朝町住民基本台帳より抽出



町が目指す将来像

笑顔と元気があふれ 輝く町

未来の三朝町を創造していくため、町で暮らす一人ひとりが笑顔と元気にあふれ、いつまでもいきいきと活躍できる町を目指すこととし、町の将来像を「笑顔と元気があふれ 輝く町」として定めています。

町民はもとより町外の方からも「この町で暮らしたい」、「この町で学びたい」、「この町で生み育てたい」、「この町を訪れたい」、「この町で癒やされたい」、「この町で活躍したい」と思われるような、一人ひとりの願いをかなえることのできる町を目指します。

※第11次三朝町総合計画より



2. 電源立地地域対策交付金事業

本町では、2つの電源立地地域対策交付金を活用

■原子力発電施設等周辺地域交付金

原子力発電施設等の所在市町及び隣接市町村を域内に有する都道府県へ交付されるもの。

○対象施設

- ・独立行政法人日本原子力研究開発機構 人形峠環境技術センター
(岡山県鏡野町)

■水力発電施設周辺地域交付金

運転開始後15年以上経過している水力発電施設が所在し、その評価出力の合計が1,000kw以上で、かつ、基準発電電力量の合計が500万kw以上の水力発電がある市町村へ交付されるもの。

○対象施設

- ・下畑発電所 ・下西谷発電所 ・牧発電所 ・小鹿第一発電所
・小鹿第二発電所 (三朝町内)



■原子力発電施設等周辺地域交付金

○交付金額

毎年度、電源立地地域対策交付金規則の第9条（周辺分）と第15条（自立分）を合わせた金額が交付限度額となっている。

※交付金額：4,500万～5,000万円程度

■水力発電施設周辺地域交付金

○交付金額

毎年度、交付金の限度額算定に係る調査に基づき限度額を算出。
ただし、算出發電電力量に対する基本交付額が少額となるため、最低保証額である440万円が交付金額となっている。

■原子力発電施設等周辺地域交付金

交付金活用事業（原子力分）

実施年度	事業名	総事業費(円)	交付金充当額(円)
令和3年度	三朝町高勢地区多目的ホール整備事業 …①	91,832,400	45,335,200
令和2年度	三朝町高勢地区多目的ホール整備基金造成事業	46,497,200	46,497,200
令和元年度	三朝温泉熱気浴施設等整備事業 …②	111,089,000	48,997,400
平成30年度	三朝温泉熱気浴施設等整備基金造成事業	50,084,600	50,084,600
平成29年度	消防体制強化整備事業	66,398,400	52,665,800
平成28年度	三朝町総合文化ホール改修事業 …③	101,900,000	53,720,000
平成27年度	三朝町総合文化ホール改修基金造成事業	53,464,400	53,464,400
平成26年度	ふるさと健康むら改修事業 …④	30,566,160	28,000,000
	観光広告塔整備事業 …⑤	10,798,920	9,000,000
	災害対応車両整備事業 …⑥	5,798,818	5,000,000
	消防体制強化整備事業	13,676,040	12,255,000
平成25年度	三朝温泉新観光拠点施設整備事業 …⑦	92,896,460	54,384,600
平成24年度	三朝温泉新観光拠点施設整備事業(基金造成)	54,604,200	54,604,200
平成23年度	三朝温泉新観光拠点施設整備事業(基金造成)	55,135,200	55,135,200
平成22年度	三朝町立小学校耐震補強改修事業(上期)	151,636,313	22,858,000
	三朝町立小学校耐震補強改修事業(西小学校体育館改修)(下期)	31,815,000	31,485,200
平成21年度	三朝町立小学校耐震事業(基金造成)	55,527,600	55,527,600
平成20年度	三朝町立小学校耐震事業(基金造成)	55,851,600	55,851,600
平成19年度	三朝中学校耐震及び施設改修事業	221,340,000	55,440,200
平成18年度	三朝中学校耐震及び施設改修事業	13,114,000	13,114,000
	三朝中学校耐震及び施設改修事業 基金造成	42,209,000	42,209,000
	小鹿溪探勝遊歩道改修事業 基金造成	4,300,000	4,300,000

■水力発電施設周辺地域交付金

交付金活用事業（水力分）

実施年度	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円)
令和3年度	吉田区防火水槽新設工事	9,748,200	4,400,000
令和2年度	教育支援バス更新事業 ……⑧	7,854,700	4,400,000
令和元年度	今泉地区防火水槽改修工事 ……⑨	7,320,500	4,400,000
平成30年度	道路等維持管理車両整備事業	5,163,773	4,400,000
平成29年度	除雪機整備事業	6,896,228	4,400,000
平成28年度	(上期)除雪機整備事業 ……⑩	6,791,850	2,325,160
	(下期)地域活動用テント整備事業 ……⑪	2,410,560	2,074,840
平成27年度	除雪機整備基金造成事業	4,400,000	4,400,000
平成26年度	観光電光掲示板整備事業 ……⑫	10,746,000	4,400,000
平成25年度	観光電光掲示板基金造成事業	4,400,000	4,400,000
平成24年度	交通安全広報車整備事業	4,332,370	4,170,000
	三朝温泉街散策マップ整備事業 ……⑬	294,000	230,000
平成23年度	大瀬地区防火水槽設置工事	5,775,000	4,400,000
平成22年度	助谷地区防火水槽設置工事	5,021,100	4,500,000
平成21年度	片柴地区防火水槽設置工事	4,975,950	4,500,000
平成20年度	三徳地区多目的研修会施設屋根修繕事業	4,504,500	4,500,000
平成19年度	小鹿溪探勝遊歩道改修事業	4,620,000	320,000
	桜づつみ中の島公園改修事業	4,042,500	4,000,000



事例①：三朝町高勢地区多目的ホール整備事業

■実施年度 令和3年度

■事業費 91,382千円（充当額：45,335千円）

■概要

新たに多目的ホールを整備するとともに、隣接する公民館の一部改修を行う。

■目的

当該地域にある老朽化した体育館を撤去し、高齢化する地区住民の新たな地域活動の場づくりや災害時の避難場所としての機能アップを図る。

【背景】昭和54年に建築された体育館・公民館のうち、体育館については平成30年度の耐震診断の結果耐震工事が不可であることが判明。加えて、指定避難場所に指定されている施設であるため代替施設の整備が必要であった。

■成果目標

利用者の利用満足度100%

※アンケートにおいて満足と回答した利用者数

÷回答者数



事例②：三朝温泉熱気浴施設等整備事業

■実施年度 令和元年度

■事業費 111,089千円（充当額：48,997千円）

■概要

令和2年6月に天然ラドン熱気浴泉「すーは一温泉」をオープン。

■目的

三朝温泉の特徴であるラドン熱気浴を広く発信し、三朝温泉の魅力向上を図る。

【背景】平成22年から岡山大学病院三朝医療センター分室を借り受けて熱気浴施設として運営してきたが、平成28年10月の鳥取県中部地震により被災し、営業を続けることが困難な状況に。その後、再開を待ち望む声に応えるため、平成30年に同分室跡地を取得し、再整備に向けて動き出した。

■成果目標

施設年間利用者数 4,800人（評価年度：令和6年）

※週5日営業で1日利用者平均20人を想定



事例③：三朝町総合文化ホール改修事業

■実施年度 平成28年度

■事業費 101,900千円（充当額：53,720千円）

■概要

三朝町総合文化ホールの照明設備・空調設備の改修を実施。

■目的

地域住民が安心して快適に利用できる施設を提供し、住民福祉の向上やコミュニティ活動の充実につなげるため。

【背景】三朝町総合文化ホールは平成7年にオープン。各種講演会やイベント、成人式、小中学校の音楽会・文化祭の会場として、各種文化サークルの活動拠点として利用されている。

■成果

事業完了後に利用者を対象としたアンケートを実施。約75%の利用者から「快適・適切」との回答を得た。



事例④：ふるさと健康むら改修事業

■実施年度 平成26年度

■事業費 30,566千円（充当額：28,000千円）

■概要

ふるさと健康むらの「物産館」「陶芸工房」「織物工房」「管理棟」の改修を実施。

■目的

安全で快適な公園整備を目指す。

【背景】町民や観光客の余暇活動の場として平成5年にオープン。平成24年には「ふるさと健康むら再整備計画」を策定し、ふるさと健康むらを町の中心的な公園・交流施設と位置付け、平成24年度にはみささ子ども園、平成25年度には自由広場、グリーン広場、子ども広場を整備

■成果

施設の改修により、住民や観光客の利用が増加し、三朝温泉街を中心とした地域全体が活性化につながった。



事例⑤：観光広告塔整備事業

■実施年度 平成26年度

■事業費 10,798千円（充当額：9,000千円）

■概要

三朝温泉との分岐点付近及び国道179号線沿いにそれぞれ1基ずつ観光広告塔を整備。

■目的

三朝温泉街にある公共機関の利用者や観光客が迷うことなく三朝温泉に来ていただくことができるよう確実な誘導と、三朝温泉のPRを図る。

■成果

三朝温泉のさらなる集客促進と交流人口の増加、三朝温泉街を中心とした地域全体の活性化および住民福祉の向上につながった。



事例⑥：災害対応車両整備事業

■実施年度 平成26年度

■事業費 5,798千円（充当額：5,000千円）

■概要

災害対応車両2台を購入。

■目的

大雨などの災害が発生した場合、災害状況の把握のほか、町民に対する警戒レベル情報（避難指示など）の広報、災害時要援護者の避難援助などの活動を行うが、これらの活動を迅速に行い、災害時の人的被害を最小限に抑える。

■成果

安全且つ効率的な災害時の避難活動を実現することが期待されるとともに、安心安全な町づくりが図られ、住民福祉の向上につながった。



事例⑦：三朝温泉新観光拠点施設整備事業

■実施年度 平成25年度

■事業費 92,896千円（充当額：54,384千円）

■概要

平成26年8月に新たな観光拠点施設「ほっとプラ座」をオープン。

■目的

三朝温泉観光商工センターを改築し、開湯850年を迎える三朝温泉の新たな魅力発信と地域活力を創造するための観光拠点だけでなく、高齢者などが利用しやすいユニバーサルデザインに対応した拠点施設とする。

【背景】三朝温泉観光商工センターは、三朝温泉を中心とした観光商工業の振興などの拠点施設として昭和52年に建設。

■成果

観光客のみならず、施設を利用される住民の方々の福祉向上につながった。





水力発電施設周辺地域交付金事業の事例紹介

■ 沿革

■ 目的

■ 課題

■ 事業費

■ 効果



事例⑧：教育支援バス更新事業

■実施年度 令和2年度

■事業費 7,854千円（充当額：4,400千円）

■概要

教育支援バスを新規車両（マイクロバス：乗車定員29名）に更新。

■目的

町内の子どもたちの教育活動（社会科見学、クラブ活動など）を円滑に行うための移動手段、安全な運行の確保を図る。

【背景】旧教育支援バスは購入から18年が経過し、車体が老朽化。

■成果目標

教育支援バスの利用率100%
（評価年度：令和4年度）

※令和3年度の合計利用率÷平成29年度～令和元年度の平均の合計利用回数171回



事例⑨：今泉地区防火水槽改修工事

■実施年度 令和元年度

■事業費 7,320千円（充当額：4,400千円）

■概要

当該集落における防火用水槽の防水工事および有蓋化を実施。

■目的

自然水を取り込む無蓋で老朽化していた防火用水槽の防水工事および有蓋化を図ることによって安全性の確保と、腐臭や蚊の発生などの衛生面での課題解決を図る。

■成果

消防団員の満足度100%を目標とし、アンケート調査を実施。その結果96.2%の満足度を得た。

※アンケートにおいて安心して消防活動ができる
と回答した団員数÷地区消防団員数×100



事例⑩：除雪機整備事業

■実施年度 平成28年度

■事業費 6,791千円（充当額：2,325千円）

■概要

除雪車を1台整備。

■目的

ゲリラ豪雪にも強い除雪体制を構築し、効率的かつ迅速な除雪を実現するため。

■成果

雪寒指定路線以外の路線（総延長約21km）の除雪時間6時間に対して、4時間20分で作業を終了し、約2時間短縮することができた。

また、除雪を行った地域代表者からは「効率的かつ迅速に安心安全な交通を確保してもらった」などの意見を得た。



事例⑪：地域活動用テント整備

■実施年度 平成28年度

■事業費 2,410千円（充当額：2,075千円）

■概要

高齢者から子どもまで安心して簡易に設置・収納できる、軽量かつ丈夫なワンタッチテントを24張整備。

■目的

地域住民のコミュニティのさらなる推進と、安心安全な地域づくりの推進を図る。

■成果

①設置・収納時間は15分から1分に短縮、②持ち運びやすさは、約75kgから約50kgへ軽量化、③テントを利用した団体の代表者から「設置・撤去しやすく安心して利用することができた」「非常時にも利用できる場所がいい」などの意見を得た。



事例⑫：観光電光掲示板整備事業

■実施年度 平成26年度

■事業費 10,746千円（充当額：4,400千円）

■概要

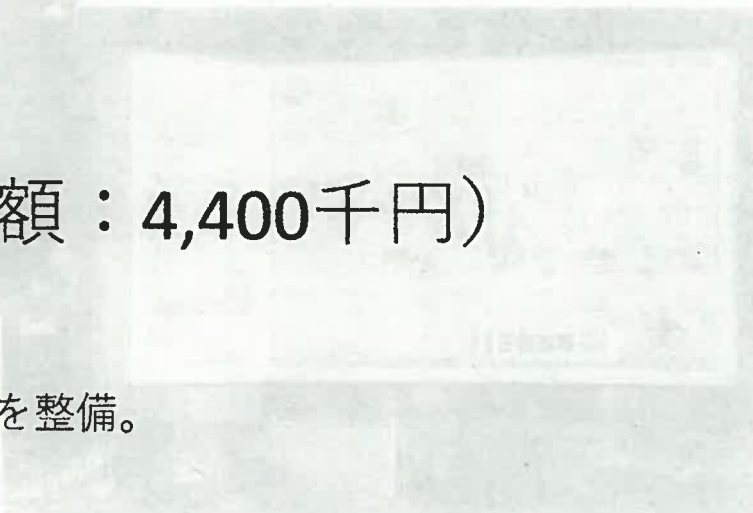
三朝温泉入り口（キューリー公園内）に電光掲示板1基を整備。

■目的

県内外から訪れる観光客などに対して三朝温泉へ確実且つスムーズな誘導を行い、また、観光情報を継続的に提供することにより、さらなる集客促進と三朝温泉街を中心とした地域全体の活性化を図る。

■成果

観光地への電光誘導塔を整備したことにより、観光客などを三朝温泉への確実な誘導につなげた。現在、イベント情報や交通情報なども掲示。



事例⑬：三朝温泉街散策マップ

■実施年度 平成24年度

■事業費 294千円（充当額：230千円）

■概要

町内外から訪れる観光客が三朝温泉街を安心して散策できるための観光案内図を整備。

■目的

三朝温泉街の周遊ルート内に設置していた大型案内図が、設置から27年経過し案内図の表面の劣化や記載情報が古いことから、全体をリニューアルし、三朝温泉街の活性化につなげる。

■成果

町内外から訪れる観光客が三朝温泉街を安心して散策でき、観光客が旅館以外で過ごす時間を有効に活用できるよう観光情報を提供し、三朝温泉街の活性化につなげた。



施設等への視察

説明会会場（第2会議室）

—徒歩移動→ 町総合文化ホール

—徒歩移動→ 役場駐車場（除雪機・災害対応車両・教育支援バス）

—車両移動→ キュリー公園（電光掲示板）

—車両移動→ ふるさと健康むら（物産館、織物工房、陶芸工房）

—車両移動→ 多目的駐車場

—徒歩移動→ 三朝温泉街（すーは一温泉）

—徒歩移動→ 三朝温泉街（ほっとプラ座）

